

## 公益社団法人日本地震工学会 第22回理事会議事録

A. 日時：2016年6月6日（月） 17時15分～19時50分

B. 場所：建築会館 304会議室

C. 出席者：（会長）目黒公郎，（副会長）木全宏之，倉本 洋

（担当理事）吉見雅行，田中宏司，原田健二，長島一郎，大堀道広，楠 浩一，  
入江さやか，山口 亮，中村いずみ，高橋郁夫，甲斐芳郎，秋山充良，  
中村友紀子，宮腰淳一，

（監事）勝俣英雄，中村 晋

欠席：（副会長）中埜良昭（担当理事）室野剛隆

オブザーバ出席：吹野美絵事務局長，小松康典事務局員

### D. 提出資料

資料 22-01 平成28年度公益社団法人日本地震工学会役員一覧（吉見理事）

資料 22-02 平成28年度理事会体制と役員の分掌（吉見理事）

資料 22-03 理事会の進め方に関する資料（吉見理事）

資料 22-04 公益社団法人日本地震工学会第21回理事会議事録（案）（吉見理事）

資料 22-05 公益社団法人日本地震工学会第4回社員総会議事録（案）（田中理事）

資料 22-06 公益社団法人日本地震工学会臨時理事会議事録（案）（吉見理事）

資料 22-07 平成28年度事業計画（吉見理事）

資料 22-08 平成28年度公益社団法人日本地震工学会収支予算書（原田理事）

資料 22-09 会務報告（2016年4月19日～2016年6月6日）（吉見理事）

資料 22-10 会計報告（原田理事）

資料 22-11 会長特別委員会報告会実施報告（目黒会長）

資料 22-12 広報部会からの報告（入江理事）

資料 22-13 情報コミュニケーション委員会からの報告（中村いずみ理事）

資料 22-14 会誌編集委員会からの報告（高橋理事）

資料 22-15 大会実行委員会からの報告（甲斐理事）

資料 22-16 選挙管理委員会からの報告（長島理事）

資料 22-17 17WCEE 招致委員会からの報告（目黒会長・中埜副会長）

資料 22-18 会長特別委員会（地域レジリエンス）からの報告（目黒会長）

資料 22-19 事業企画委員会からの報告（中村（友）理事・宮腰理事）

資料 22-20 平成28年6月理事会 個人会員 入退会一覧（室野理事）

資料 22-21 平成28年度日本地震工学会委員会委員の委嘱に関する資料（田中理事）

資料 22-22 後援（2件）・協賛（1件）名義使用依頼書審議資料（田中理事）

資料 22-23 ESG 国際シンポジウムの主催について（楠理事）

資料 22-24 定款改定を受けた規程類の改定について（吉見理事）

資料 22-25 福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会について（目黒会長）

## 資料 22-26 防災推進国民大会に関する資料（楠理事）

理事 19 名中 17 名の出席があり、理事会の成立が確認された。

### E1. 議題：

#### 1) 会長あいさつ（目黒会長）

新体制の発足にあたり、目黒会長から挨拶があった。

#### 2) 役員の紹介（吉見理事 資料 22-01）

吉見理事より資料 22-01 を基に公益社団法人地震日本地震工学会の平成 28 年度役員一覧について説明があった。その後、出席した役員全員が自己紹介を行った。

#### 3) 今年度理事会体制と役員の分掌（吉見理事 資料 22-02）

吉見理事より資料 22-02 を基に今年度の理事会の体制について説明があった。今年度は特に、広報部会が新設されたこと、第 15 回日本地震工学シンポジウムに向けた取り組みを開始すること、名誉会員の選考があること等が説明された。また、事務局の体制についても説明された。

#### 4) 今年度の理事会の進め方および年間予定（吉見理事 資料 22-03）

吉見理事より資料 22-03-1 を基に今年度の理事会の日程について説明があった。特に今年度は会議時間の短縮化を図るため、議事録・出欠確認・報告事項は理事会の 1 週間程度前までに事前にメールで提出することについて説明があった。

また、吉見理事より資料 22-03-2 により公益法人の各機関の役割と責任について説明があり、特に法人と理事・監事は委任の関係にあること、善管注意義務を負うことが説明された。

更に、吉見理事より資料 22-03-3 を基に 2016 年から 2017 年の活動計画が説明された。

### E2. 報告事項

#### 1) 第 21 回理事会議事録の確認（吉見理事 資料 22-04）

資料 22-04 を基に吉見理事より前回議事録が説明され、微修正の後、議事録として承認された。特に、本年度から理事全員が業務執行理事となったため、定款第 22 条第 4 項（毎事業年度に 4 箇月を超える間隔で年に 2 回以上、自己の職務の執行の状況を、理事会に報告しなければならないこと）が留意点として説明された。

#### 2) 第 4 回社員総会議事録（案）確認（田中理事 資料 22-05）

資料 22-05 を基に田中理事より総会の議事録が説明され、微修正の後、承認された。

#### 3) 臨時理事会議事録（案）確認（吉見理事 資料 22-06）

資料 22-06 を基に吉見理事より総会時に開催された臨時理事会の議事録について説明があり、承認された。

4) 平成 28 年度活動計画（吉見理事 資料 22-07）

資料 22-07 を基に吉見理事より平成 28 年度活動計画が説明された。今年度のトピックスとして、17WCEE の誘致活動、広報部会の新設などについて解説があった。出版事業に関する質疑があり、公 1 の公益目的事業の範囲で行うことを確認した。

5) 平成 28 年度予算（原田理事 資料 22-08）

原田理事より資料 22-08-01, 22-08-02 に基づき平成 28 年度予算に関する説明がされた。広報部会の予算が計上されていないが、必要となった際はどうかの質問に対して、補正予算で対応することが確認された。

6) 会務報告（吉見理事 資料 22-09）

資料 22-09 を基に吉見理事より会務報告について説明があった。内容に抜けや漏れがあった際は、総務理事ならびに事務局にメールで報告することが確認された。

7) 会計報告（原田理事 資料 22-10）

原田理事より資料 22-10 に基づき平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日までの予算管理月報が説明された。熊本地震の対応に関する費用についての質問があり、現在のところ関連支出はないことが確認された。

8) 会長特別委員会報告会実施報告（目黒会長 資料 22-11）

目黒会長より会長特別委員会報告会実施報告について説明があった。平成 28 年 6 月 1 日に東京電機大学北千住キャンパスにおいて、安田前会長および久田先生のとりまとめにより開催され、大変盛況であったことが紹介された。

9) 広報部会からの報告（入江理事 資料 22-12）

入江理事より資料 22-12 について報告があった。平成 28 年 5 月 30 日に開催されたキックオフミーティングの紹介があり、部会のミッションや課題について、持続的に取り組んでいく方向性などについて議論がなされたことが報告された。また、他の委員会と連携しながら多様で戦略的な情報発信を提案していくこと、大会ではその地域での認知度をあげるようメディアへの働きかけを行っていくことなどが報告された。

10) 情報コミュニケーション委員会からの報告（中村いずみ理事 資料 22-13）

中村いずみ理事より資料 22-13 に基づき情報コミュニケーション委員会の依頼事項および活動報告が説明された。メールニュース巻頭言執筆の新任理事への依頼があった。また、ウェブサイトのメンテナンスについて他の報告があった。次回 Newsletter では新規の研究委員会募集を掲載することが確認された。

11) 会誌編集委員会からの報告（高橋理事 資料 22-14）

高橋理事より資料 22-14 会誌編集委員会活動方向が説明された。6 月末発刊の No. 28 についての説明と 10 月末発刊の No. 29 では熊本地震がテーマになることが報告された。

12) 大会実行委員会からの報告（甲斐理事 資料なし）

甲斐理事より大会実行委員会からの報告がされた。今週を目途に論文投稿ページを開設すること、ツアーの決定を今週中に行うこと、香川大の岡崎先生原稿が届き次第トピックスへの投稿を依頼することが報告された。技術フェアの申し込みが現状で 4 件であり、6 月中に 10 件程度にしたいことが報告された。

13) 選挙管理委員会からの報告（長島理事 資料 22-16）

長島理事より資料 22-16 に基づき日本地震工学会役員選挙の公示案内について説明された。役員選挙方法の概要、選挙スケジュール、立候補者の募集について報告された。

14) 17WCEE 招致委員会からの報告（目黒会長 資料 22-17）

目黒会長より 17WCEE 招致活動について状況が報告された。5 月 31 日に招致委員会が開催され、開催予定地の仙台の人にも入っていただき議論がされた。日本の防災ビジネスを売り込む機会とするため、300 程度の企業に出展していただく予定。予算計画では、参加者数を 3 ケース想定したケーススタディを行い赤字にならないことを確認した。仙台市には 1000 人を超える食事会場がないことからバンケットが開催できないことがネガティブ要因にある。その他、ND への打診および依頼方法について説明があった。

15) 震災対策技術展 大阪 実施報告（目黒会長 資料 22-18）

目黒会長より 6 月 2 日に開催された震災対策技術展大阪の出展状況について紹介があり、大変好評であったことが報告された。

16) 事業企画委員会からの報告（中村友紀子理事・宮腰理事 資料 22-19）

中村友紀子理事と宮腰理事より、資料 22-19-01、資料 22-19-02、資料 22-19-03 に基づき、7 月 15 日に開催されるメディア交流会（超高層ビルの長周期地震動に対する備え）について説明され、異議なく承認された。

### E3. 議案

第 1 号 入退会者（原田理事・室野理事 資料 22-20）

原田理事より資料 22-20 を基に平成 28 年 6 月の入退会者について説明があり、正会員 4 名、学生会員 6 名の入会が承認された。また、年度末での退会者が正会員 3 名、学生会員 2 名であったことが報告された。

資格停止者に対して、知人を通じて状況を連絡することを確認した。今後、海外渡航期間中は休会ができるような制度の導入等も含め、資格停止規程の見直しを検討する必要があることが議論さ

れた。

第2号 委員会委員の委嘱（田中理事 資料 22-21）

田中理事より資料 22-21 を基に日本地震工学会委員会委員名簿について説明があり、異議なく承認された。

第3号 共催・後援・協賛等（田中理事 資料 22-22）

田中理事より資料 22-22 を基に下記の後援 2 件、協賛 1 件の名義使用依頼について説明があり、異議なく承認された。

- ・平成 28 年度熊本地震 地震被害調査結果 速報会（土木学会地震工学委員会主催）〈新規後援〉
- ・2016 年度計算力学（CAE 技術者）資格認定事業（日本機械学会）〈継続協賛〉
- ・総合工学シンポジウム 2016（日本学術会議総合工学委員会）〈新規後援〉

第4号 ESG 国際シンポジウムの主催について（楠理事 資料 22-23）

楠理事より資料 22-23 を基に第 6 回 ESG 国際シンポジウムの日本開催時の主催について説明があり異議なく承認された。

E4. 懇談事項

1) 定款改定を受けた規程類の改定について（吉見理事 資料 22-24）

吉見理事より資料 22-24 を基に規則・規程類の改定案について説明があった。次回の理事会で議決を取りたいための事前の紹介であることが説明された。

著作権の規程に関して著者の権利がはっきりしていない点についての質疑があり、総務部会、広報部会で検討を行うこととなった。

2) 熊本地震への対応について（目黒会長 資料なし）

目黒会長より 7 月 16 日に日本学術会議に於いて、防災学術連携体の報告会が開催されることが紹介された。報告会および原稿作成は目黒会長が対応することとなった。

3) 南海地震 70 周年シンポジウムについて（吉見理事 資料なし）

吉見理事より大会 2 日目 15 時～18 時に地震学会との共催シンポジウムの準備状況について説明があった。シンポジウムは、講師 3 名の発表とその後のパネルディスカッションで構成し、一般市民向けの企画として実施予定である。日本地震学会との調整は吉見理事が対応することとなった。広報部会と連携して地元の各種機関を活用することとなった。

4) 福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会について（目黒会長 資料 22-25）

目黒会長より資料 22-25 に基づき福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会に関する説明があった。これから二つの分科会が立ち上がるが、当面は委員で興味のある人が橋渡しをしながら情報収集を進めて行くこととなった。

5) 地震災害対応委員会からの懇談事項（楠理事 資料 22-26）

楠理事より資料 22-26 を基に防災推進国民大会「防災力の強化をめざす防災学術連携体と日本学術会議」について説明があった。8 月 28 日の講演 4 は目黒会長が講演および原稿執筆を行うこととなった。

6) 今後の予定について（吉見理事 資料なし）

吉見理事よりスペシャルアドバイザーへの講演依頼が数件来ていることが説明され、理事にも協力して欲しいとの依頼があった。

次回の理事会では報告案件は事前の資料報告とすることが再度周知された。

次回：8 月 9 日（火）17 時-20 時

記録担当：総務理事 田中宏司

以上 この議事録が正確であることを証します。

平成 28 年 8 月 9 日

議 長 目 黒 公 郎

監 事 勝 俣 英 雄

監 事 中 村 晋